

暇つぶしの読み物

2001	同じフロアで働いているHさんが、私の対面の席のSさんに用事があったので、「Sさん、ちょっと席をはずしてますよ」と教えてあげた。するとHさんは、おもむろにSさんの椅子に敷いてある座布団にさわって、「まだ遠くへは行っていない……」とつぶやいて去って行ってしまった。
2002	同じマンションに住む小学5年生のワルガキは、ある日お仕置きにベランダに出されていた。初めは「ごめんなさ〜い！もうしませ〜ん」と反省の言葉を口にしてしたが、それでも許してもらえないとわかると「う〇ち！ち〇こ！ま〇こ！」と卑猥な言葉を連発し、慌てて部屋へ連れ戻されていた。（しーず）
2003	同じ職場に勤める旦那が先日電話で「長」という漢字を説明するのに、何のためらいもなく「いかりや長介の長、です！」と言い切っていた。…他にないのかい？いつもそう言ってるのかい？
2004	同じ職場の男性（50代前半）が帽子をかぶってきた。どうやら娘にもらったらしい。ゴキゲンな彼は頭にかぶったその帽子を指差しながら一言。「いいだろ〜。娘にもらったんだ、アデランス」（正しくはアディダス）
2005	同期のK君は、「とんでもない」をもじって「飛んでも8分、歩いて5分」と、ことあるごとに言い放ちます。なぜ歩いたほうが早いのか、誰も気がついていません。
2006	同期のTは、新入社員の頃、ケーブルをさばく時、先輩から「大きく8の字にかいといて」と言われ、床にマジックで8の字を大きく書いたおとぼけくんです。（8の字違い）
2007	同期のYちゃんが、本社に出張して仕事をしているとき、お客さんに「〇〇課はどこですか？」と聞かれ「この者ではないのでわかりません」と言おうとしたところ「この世のものではないのでわかりません」と言ってしまったそうです。彼女もお客さんも「はっ」として、一瞬沈黙したそうです。
2008	同僚（31歳女性独身）は「たらば蟹」の存在を知らず、直売所の「茹でたらば蟹」の看板を見て「へ〜！茹でる前はなんなんだろ？」とつぶやいていた。
2009	同僚O（♀）のお弁当は男気がある。容器いっぱいにしきつめられた白米と、おかずが1品ドーンと。コロッケが切らずにそのまま入っていたり、から揚げが山盛りだったり。本人曰く、「腹の足しになれば良い」とのこと。彼女は工事現場のオジサンに囲まれてもやっていけそうだ。（すもも）
2010	同僚が「すみません」を連発し、課長にペコペコ頭を下げていた。その姿を「米つきバツタみたい」と、隣の席の天然ボケNに言ったところ、Nは「えっ？骨付きカルビ？」と返してきた。
2011	同僚がとある「例会」の「資料」をワープロで作っていた。いたずらを思いついた私は、彼が席を外したすきにワープロの辞書に「霊界」「死霊」等の言葉を覚えさせたうえで、辞書の学習機能を切っておいた。同僚はいつも遅くまで残業をしているのに、その日は退社時刻にそそくさと帰っていった。
2012	同僚とステーキハウスへ食事に行きました。店員さんに「焼き加減は？」と聞かれた同僚は、「…ウェルカム」と返答。店員さんは「いらっしやいませ」と返していました。店員さん、ナイス！
2013	同僚のMは、社内のだれもが認める超ワガママ女。「私、気を使う人とは仕事をしたくないの」と言いまくったため、逆に皆が気を使い、一人倉庫で企画の仕事をさせられている。はじめは「広い部屋でいいわ〜」と喜んでいたMだが、最近「他の人がなにやっているのかサッパリ解らない！仕事しないで遊んでるんじゃないでしょうね」と言ひだし「ガッツ伝説

	よりすごい伝説を作る女」と一目置かれるようになった。
2014	同僚のハンガリー人は「フジイさん」という日本人のお客さんの名前をわすれて、「なんだっけ、あ、コダックさん！」と嬉しそうにしていた。
2015	同僚の森元さんは「森本」と書き間違えられるのを非常に嫌っていた。今日も電話で名前の字を説明していたのだが、うまく伝わらなかったのか、「味の素のモトです！」と怒鳴っていた。(森素?)
2016	-
2017	同僚の中国人Sくんは、日本語がとても流暢な秀才。しかし会社で健康診断があった日、私「X部長、どこに行ったの？」S「あ、今ケツの検査中です」オフィスが一瞬フリーズしました。が、Sくんが大好きな私は分かってあげた。私「血液検査ね！」その後、オフィスでは「血みどろ」「血祭りに上げる」「血の雨が降る」「血が出ている」等の言い換えがはまりました。ちなみに部長のケツは問題なかったようです。
2018	同僚の美人OL(30歳)と、ワープロ文書を見ながらの話。「この文書、チョンマが変！チョンマが！」手を激しく振り動かしながら、表現しようとしていたけど、それはカンマ。
2019	匿名の社内アンケートで「現在のあなた地位は、社長まであと何段階か」という問いがあった。私が13段階ぐらいかなと答えると、友人に「じゃ、殉職7回は必要だ」と言われた…。(寒すずめ)
2020	得意先からモノクロでファックスがきた。「規格が変わったのは、数字が赤字になっているところです」。赤字って…どこ？
2021	得意先に寄った帰り、道端にぶっ倒れている会社員風の人がいた。交通事故直後だったらしく、しばらく動かなかった。そこへ携帯電話が鳴り「はいっ、××でございます。いつもお世話になっておりますっ」ととっさに対応していた。びっくりした。
2022	得意先に打ち合わせに行った。企画書を見せ「これをたたき台にして下さい」と言うところを「これをたたき上げにして下さい」と言ってしまった。
2023	独身時代から、ファッションやメイクにはこだわりのある私。ゴージャスかつエレガントなデキる女を自負している。そんなある日、後輩に「〇〇さん(私)って、うちの会社で一番セレブですよ」と言われたので、喜んで夫にその話をしたところ、「セレブは社宅に住んでないと思うよ」と静かに言われました…。(社宅妻)
2024	栃木県には「霧降高原」という美しい観光地があるが、先の旅行中、父はいつも「霜降高原」と間違えて、何度言っても直らなかった。「尻振り高原」などととんでもない間違いをすることもあった。いいかげん覚えんかい！(渋滞疲れ)
2025	突然システムがシャットダウンして、1時間のエクセル作業がムダになったらしい先輩。先輩「もう、この私の、血まみれの努力をどうしてくれるのよ！」私「は？」先輩「まちがえた！血が滴るような…？血が凍るような…？なんだっけ？」ホラー映画ですか？(血のにじむような、かな?)
2026	突然依願退職した先輩が「引継ぎ資料は、担当者の名前のフォルダを作成しておいたから」と言い残し、さっそうと辞めていった。しかし、山口という名のフォルダがない。よく探して見ると「山愚痴」フォルダが…。先輩、退職理由はなんですか。
2027	突然父が、「タッチオンパがない…タッチオンパどこにいったか誰かしらんか！」と怒っている。意味が分からない。何度も「何のこと？どれのこと？」と聞いたが、父は「タッチオンパは、タッチオンパだろ〜！」と言い張っている。それは、テレビのリモコンの事だった。
2028	内科医です。糖尿病の専門医である後輩が、外来で患者さんの診察をしながら「このへんのお肉をなんとかしないとね〜」と、おばさんの段々腹の一番上の段をつまんだつもりでし

	たが、よくみるとそれはおばさんのおっぱいだったそうです。女医でよかった…（お肉に注意）
2029	肉ばかり食べる父に、母が、「肉ばかり食べないで、野菜も摂らないと…」と注意したら、父は、「トラさんはな、肉しか食べなくてもあんなにスリムなのに、牛さんはな、草ばかり食べるのに、あんなに大きいんだぞ」と反論していました。
2030	日能研の電車の広告の問題を必死に考えていた。考えすぎてうっかり「分からへん…」とつぶやいてしまったらしい。隣に立っていたおっさんが解説してくれた。悔しかった。
2031	日本から遊びにきた友達を連れて食事に行ったときのこと。ウエイトレスが食べ終わった皿を下げようと「こちらお済ですか？」と、空いた皿のほうへ手を向けたとき、友だちは「いいえ、日本に住んでます」と答えていた。
2032	日本で生まれ育った日本語も英語も苦手な我社の社長は、海外出張を控えたある日、女性社員に向かい、「〇〇さん、ホテルのポッキングナンバー教えてー」続けて「ホテルのベッドインタイムは何時だっけ？」だって。これってセクハラと言われても仕方ないよねー。※ポッキングナンバー……ブッキングナンバー、ベッドインタイム……チェックインタイムのつもり
2033	日本語も少し不安なうちの上司が、オーストラリアへ旅行する事になった時、「来月はゴーストコーストでバカンスだあ！」と、誰かれ構わず自慢して大はしゃぎしていたが、絶対そんなところには行きたくないと思った。
2034	日本史のテストが返された。友人は「屁」と書くべきところに「尻」と記入していた。友達は「尻なんて書いちゃった、恥ずかしい！」と言いながら、赤ペンで「屁」と書き直した。
2035	日曜は、晴れなのに雪が降っているという状態（天気雪）だった。会社の先輩が、「天気雪のことを群馬では『狸の婿取り』と呼ぶ」と言っていたのを思い出したが、本当なのだろうか…？（しろちゃん）
2036	日曜日のスーパーで、男の子が「ママ、こじよし食べてみたい」と云って何やらパックを持ってきた。側にいた父親風の男、そのパックを見て「お前6年にもなって、こんな字も読めないのか？これはシラスと読むんだ。」と怒っていた。そのパックを覗いてみたら、小女子（こおなご）と書いてあった。
2037	入社したての頃、「こなま様お願いします」との電話があり本人を探したが、社員名簿にも「こなま」と読めるような名前は見当たらず、困って先輩に聞くと次の返事が帰ってきました。「最近多いのよね。小生をこなまと読んじゃう人。今でもいるのよね。自分のこと小生って書く人」（なにわっこ）
2038	入社したての頃の話です。行動予定を書くホワイトボードの帰社時間の所に私の上司は「直帰」と書いて会社を出ていきました。上司あてに支店長から電話がかかり、何時に会社に戻る？と聞かれたので「じきに戻ります」と言ったらみんなに笑われた！会社には戻らずそのまま帰るという意味の直帰を、じきに戻らと思った私はすごく恥ずかしかった。でも勉強になりました。
2039	入社して23年ずっと「コンタクト」をしていた。交換しようとして眼科にいったところ“角膜に傷がある”とかでしばらく「メガネ」でいるように言われ言いつけを守り入社した。すると入社以来20年間同じ部署で働いている後輩から『〇〇さん、メガネ変えたんですね』と笑顔で言われた。~~~~~
2040	入社まもない新人くん、受付からお客さまからの電話だと内線がきました。受話器を取り、電話先のお客さまに対して「はい、お電話代わりました△△です」と言うところを、「はい、電話おかわりしました△△です」と言った。その後、恥ずかしそうに電話を済ませた彼に、「お客さん何だっけ？」と聞くと、「もう、お腹いっぱいですか？」と言われたらしい。（さと）

2041	入社時既に一児の母だったお嬢さん。短時間勤務でもないのにフレックスで出勤、会社で朝ごはん、勤務時間中はネットやり放題、そして定時で退勤…有給休暇は当然のように使いきり、さらに介護休暇等々就業規則に載っている休暇は余す所なく利用。そんな彼女が同期のぼっちゃんに一言“休暇は権利なんだから使わないと♪”…権利の前に仕事という義務果たせよ。(だうっ)
2042	妊娠中のお腹の大きな友人Nちゃんが遊びに来た時、3歳だった娘が喜んでNちゃんにじゃれついていた。私が、「Nちゃんのお腹の中には赤ちゃんがいるから強くぶつかったらダメよ」と注意すると、えっ！と息を飲んで、ひどいショックを受けたように目を丸くした娘が、「…Nちゃん、赤ちゃん食べたの!？」と聞いてきた。まわりの大人は大爆笑！10年経っても忘れられない。
2043	年配の人に仕事を手伝ってもらった時の事。ある時突然飛び上がり、まるで全力疾走の如く両足をばたつかせて「虫がいるッ虫がいるッ」と言ってズボンのポケットに手を入れたり出したり。日頃、携帯に縁のない人に私の携帯を渡し、しかも“バイブ”だけにしておいた私が悪かった。
2044	年末、会社の机の中を掃除していたら5インチのフロッピーディスクが出てきた。入社3年目の男の子(25才)に見せると「初めて見ました。そんなフロッピーがあったんですね!」と驚いていたが、新人の女の子(22才)に見せると「懐かしいですね。それで“信長の野望”やってみました!」という返答をよこしてくれた。(どんな小学生やねん)
2045	年末に向けて雑誌やチラシの整理をはじめた我が妻。しかし、「あ、これいつか見るかもしれないから取っとこ」「あ、これも便利だから取っとこ」と何でもかんでも「取っとこ」「取っとこ」と言っている。そんな彼女に私がつけたあだ名は「取っとこハム太郎」である。
2046	年末のニュース番組で、「干支のバトンタッチ」というタイトルで本物の羊と猿と一緒に連れて来る行事(?)みたいなモノが取り上げられていました。毎年やっているのだとしたら、寅、辰、巳、亥とかの年はどーするんだろう…とちょっと気になりました。
2047	年老いた母がお風呂に入ろうとしていたので、「溺れないでね。」と言ったら「大丈夫よ、あたし泳げるから。」との答え。ウチのお風呂、そんなに広くないんだけど。
2048	買物を済ませて車に戻ると、隣に止まっていたトラックのボディーに「釣り船屋 天福丸」…機会があっても乗船したくない。(救命胴衣が必需品)
2049	髪が薄いといえば…。バイト先によくいらっしゃる社長さんは、やっぱり薄いという言葉に敏感でいらっしゃって、薄めの水割りを注文された時は「水割り、アメリカンで!」と気を使ってオーダーするように上司から指導されています。
2050	髪を伸ばしたい娘(小1)をなんとか説得し美容院に行き切ってもらったところ、髪型が気に入らず「こんなおかつぱやだ!」と部屋にこもって大泣き。「この髪型はボブ・カットと言って、全員ができるヘアスタイルじゃないよ。とっても似合っていてかわいいよ。」と説得すると「ボブ・サップみたいでやだ!」とますます大泣きされました。(火に油)
2051	髪を切った私に上司が、「その髪型何て言うの?」と聞くので、「私はボブです」と言ったら、同僚が「じゃあ私はキャサリン!」なんて言い出したので、それから私達はボブ、キャサリンとマジで呼ばれるようになった。(総務課のボブ)
2052	繁華街を同僚と歩いていたら、客引きのお兄さんが前に立ちはだかり、ハデな手振りを交えて「Don't stop! Dont'stop!」と、カッコつけた英語で声をかけてきた。引き留めようとしたのだろうが、私達は素直にその場を立ち去った。(素直なサラリーマン)
2053	飯田橋駅近くの絵画を売っている小さな店の前を通った。「世界の巨匠大処分市」(印象派)
2054	彼とドライブの最中、全開だった窓から風がびゅーびゅー入ってきて寒かったので、彼に「ちょっとだけ閉めてっ」と言ったら、「てるるやんけー」と言いながら、ちょっとだけ抱きしめ

	てくれた。
2055	彼とのデートで小洒落たお好み焼き屋さんに入って、時間をかけて決めたメニューは「しゃぼん玉」。なんかかわいいイメージなのかしら？と思って店員さんに告げると、笑いをこらえながら「ジャンボ玉ですね」と言われた。彼も長い間笑っていた。
2056	彼とのデートの後、こっそり浮気相手のマンションに泊った私。「自宅に着いたら電話して」と彼から入ったメールも無視し、翌日電話で「今さっきメール届いたから電話できなかったのお」と言い訳。彼は「ふ～ん、とまっていたんだ？」と、サラリと一言。何でバレてんの～！？私は「は？とま？泊らないよ！だって、どこにっ？だから、まっすぐ家に…」などとあたふた。彼は驚いて「え？電波の関係でメールの着信が、どっかで止まったたのかなって…」。この後の私はしどろもどろでした。
2057	彼の実家へお邪魔した時、昼食の片付けを手伝って台所に立った。いきなり背後から抱き着かれたので彼だと思い「イヤ～ン」とぶりっこで振り向いたら、足を滑らせてこけかけたおばさまが絶句していらした。
2058	彼氏とのデートの帰り、自転車に乗りながら、気分はるんるんでした。気分よく鼻歌を歌いながら走っていると、いきなり知らないおばちゃんに「ライトをつけなさい！しかも歌下手よ！」と、おこられた。むきーっ！（鼻歌マッチ）
2059	彼女にパソコンのキーボードで「っ」を入力する時、キーをどう打つかを尋ねました。きっと「LTU」もしくは「XTU」といった答えが返ってくるものだと思っていたのですが、彼女の答えは「んーとね、つつ(TTU)」で打ってから大きい「っ」を消してるね、と得意げな答え。そんな彼女はプログラマー歴10年目前です
2060	彼女の家でイラク情勢を報じるニュースを見ていると、キッチンで料理しながらテレビの音だけ聞いていた彼女が、部屋に入って来るなり、「やっぱりイラクって砂漠の国だから、日焼け対策も大変なのね～」……世界最強の米英軍にとって大きな懸案となっている「市街戦対策」も、彼女の耳には「紫外線対策」。日本は平和だと思った。
2061	疲れがたまっていたので、クイック整体へ行った。首と後頭部を中心に施術してもらったのだが、かなり強い力でギューギューやられたので、顔にも圧力がかかっていた。30分後、「あー、気持ちよかった♪」と思いつつ起き上がると、なんと顔の下に敷かれていた布に、メイクがファンデーション、アイブロー、マスカラ、口紅とそのままそっくり転写されていた。あまりにも恥ずかしかかったので、「いやー、見事にはげましたね、ははは…」と喋って、そそくさと立ち去った。
2062	皮をむいてラップに包んだナスビが、冷蔵庫の中で茶色く変色していました。母はよく野菜のミイラを作るので「またか」と思いながらそのまま放置していました。その夜、母が「マツタケのお吸い物つくるか」と言って冷蔵庫を開けました。取り出したのは例のナスビ！…おいしくいただきました。（見慣れないので……）
2063	美術の時間に「印象派の画家を3人答えよ」という問題が出て、とある男子が「マネ・モネ・ソネ」と書いて美術教師の曾根先生から丸をもらっていた。「世渡り」ということを知った。
2064	美容院へ予約の電話をした時のこと。私「*日予約したいんですけど、空いてますか？」店員「すいません。*日は予約が立て籠もっておりまして…」事件ですか？
2065	美容室での事。カットに来た小学1年生の男の子に美容師さんが「ボクの足は細くて長いのでバンビみたいね」と誉めたら、その子が「ええっ？墓から出てくる奴?!」坊や、そりゃ、ゾンビ！（アキミ姉ちゃん）
2066	鼻歌まじりに毛染めをしていたうちの母。♪七色の長い髪を風がやあ～さしく包む♪想像したら、怖かった。七色の長い髪…。
2067	膝の手術で入院することになった。入院の打ち合わせの時、看護婦さんに「洋間でいいで

	すね」と言われ、「今時の病院は洋間と和室が選べるんだ」と思いながら、「和室にしてみようかなあ」と言ったら爆笑された。「腰椎麻酔(ようついますい)」の略で「ようま」と言うらしい。そんな患者に通じるかよ。
2068	百貨店のイベント控え室で、凍りついた顔の5歳くらいの少女。ここでは、アルバイトのサンタさん達がラーメンをすすっていました。
2069	病院でカルテの病歴欄に「貧乏」と記入されていた。それは「貧血」の間違いじゃ？
2070	病院に行ったとき、採血室に入った私のとなりで、お医者さんと看護婦さんが3人がかりで、暴れる4歳くらいの男の子を押さえつけて注射をしようとしていました。男の子は、抵抗しながら「お願いお金出すからやめて！」…みんな、思わず採血の手を止めて笑いをこらえていましたが、先生がひとり「いくら、出す？」と聞いていました。
2071	病院の検査室にいます。ここでは手術を控えた患者さんの耳たぶにカミソリのような物で傷をつけて軽く出血させ、ちゃんと血が止まるかどうかを調べる検査があります。先日ちょっと名の知れた暴力団の親分がその検査をしに来ました。「堅気なのにヤ○ザにカミソリをつき立てられる機会なんてなかなか無い！」という理由だけで後輩は自らが名乗り出て刺しました。
2072	病院の待合室で5歳の息子と他の人の迷惑にならないよう、小さな声でしりとりをしていました。突如「げええ！ちんち×御飯にのつけるのお？」と、大きな声を出す息子。直前に母は「ちんどんや」と答えたのを、彼は井モノの一種と勘違いしたようで…。場所は、狭い病院内。逃げ場ナシの私は、針のむしろでした。はい。
2073	貧乳なのが、私の最大のコンプレックス。そんな私に、優しい彼氏が笑顔で、「大丈夫！大は小を兼ねるって言うじゃないか！」更にブルーになりました。
2074	付き合いって5ヶ月ほどの彼。この間二日連夜で私と別れる夢を見たらしい。「…でも仕方ないよな」と寝言で言っていた。その数日後、隣で寝ていたらまたもや私の名前を呼んで「○○子ごめん。でも仕方が無いんだ」。だからー！何が仕方がないっちゅうねん！どんな夢みてるねん！（夢分析希望）
2075	夫が「猫と俺の扱いが同じだ」とブツブツ文句を言ってきた。「そんなことありません！」と反論した私だが、マグロのように横たわる夫の腹をなでさすりながら、うかつにも「タマ…」とつぶやいてしまった。すかさずドスの利いた声で「にやあ(ほらみろ)！」と睨まれた。
2076	夫が1歳の息子を抱きながら「おうまの親子」を歌っていたのですが、後半部分を「♪いつでも一緒にぽっくりぽっくり行くよ」と歌っていたので「『行くよ』じゃなくて『歩く』だよ」と教えてあげました。すると夫は「死ぬまで一緒ってことなんじゃないの？」と言いました。どうやら「ぽっくり逝くよ」と歌っていたようです。(そんな童謡は嫌)
2077	夫が帰る前に電話で「今日は給料たくさんもらったよ」というので「ほんとに！」と、とても喜んでいると「何をそんなに喜んでいるの？」…夫はたくさんの「きゅうり」を持って帰ってきました。欲望は耳までおかしくするらしい。(ここ3年昇給なし)
2078	夫が高校生の息子の目の前で、キッチンさみで鼻毛を切り始めた。「やめてよね～」と言う息子に夫は、「努力しないと成績はのびない、努力しなくても鼻毛はのびる」と言いました。ちなみに夫は教員です。
2079	夫と激しい口論になり、私がかかなり優勢に立った。彼は相当頭にきて言った。「オレに歯ごたえするんじゃない！」。しばらく沈黙があった。はむかったり、口答えはしたかもしれない……。
2080	夫と娘の会話(娘):私だったら絶対パパとは結婚しない。(夫):なんでだ。ちゃんと説明してみろ。(娘):自分の胸に聞いてみな。(娘はちゃんと見ているぞ！)

2081	夫の仕事で韓国に転勤した時のこと、親切な夫の母が電話で「何かほしいものない？何でも送るから」と言うので、「オープンシートとタピオカ」を頼んだら、オブラートとピスタチオが送られてきた。難しいもの頼んじゃってごめんなさい。
2082	夫の友達がパスワードを入力しても立ち上がらない！とって来た。原因を追及していく段階で「こめこめこめこめ」と入力したことがわかった。この人は某一流IT企業の人です。
2083	夫はよく忘れ物をする。財布を捜していることもよくあり、クレジットカードも入っているので私も一緒に探して見つけた拳句に叱るのだがしばらく経つとまただ。懸賞などでそんな夫の職業を入力すると痴呆公務員と変換される。
2084	夫婦ゲンカするとき、父が母に「バカモノ！」と言うのを間違って、「バケモノ！」と怒鳴ってしまい、ケンカはさらにひどくなった。
2085	夫婦ともども極めて短気なので、お互いを「瞬間湯沸器」と揶揄して遊んでいたら、今度はどっちが最新式か？でけんかになった。
2086	普段ニュースに興味のない友人Aが、「ソニーが金持ち株式会社を作るらしい。やっぱり普通の企業と目のつけどころが違うよね」と言っていた。当然ながら、「金融持ち株会社」のまちがいであるが、面白そうなので、「その会社の採用条件は、35歳以下で、年収一億円以上で別荘とヨットと愛人を持っていることらしいよ」と教えておいた。今彼は隣の部の女の子に話に行っている。
2087	普段何気なく使っている大学ノートの表紙に英文が印刷してあった。翻訳してみるとこう書かれていた。「…当社の紙は最高級で、滑らかな書き味を保証します。しかし学生生活をより良いものにできるかどうかはあなた次第です。」まあそりゃあそうなんだけど…。
2088	父が、慣れないカフェで「エ、エスプレッソください」と注文。出てきたカップがあまりに小さいので「すみません、Lプレッソに変更できますか？」とお願いしていました。(LMSサイズ)
2089	父が「この携帯のメール、トモ子でいいんだろ？」ときりに聞いてくるのでなにかと思ったら、docomoのことだった。。
2090	父が「フォアグラの靴買ってやろうか？」と言った。フェラガモのことだった。結局買ってもらわなかった。
2091	父から「自衛隊の後方支援問題について」という件名のメールが来た。何事？と思い、内容を読むと「今日は〇〇(妹)の誕生日です。一言連絡しておいて下さい。」そういえば妹はこの春、自衛隊へ入隊したんだっけ。
2092	父からのメール。「もう着くから外で待ってろ」。どう発音するのか読んで聞かせてよ。ねえ。(読めないってば。)
2093	父が私の娘に歌を聞かせていました。「げんこつ山のためきさんー、いっぱい飲んで、ねんねしてー…」いつからためきさんは酒飲みになったんだろう？(親子で酒飲み)
2094	父の車で買い物に連れて行ってもらった時のこと。帰りに駐車場で、私はしっかりと傷だらけの父の車の前で止まったが、父は通り過ぎてゆき、自分の車とそっくりな車にキーを突っ込もうとしていました。その車はピカピカで傷一つありませんでした。自分の車と取り替えたかったのか…
2095	父の友人は、D(ドライブ)にいれいているギアーは運転中にR(バック)に入るのか？という突然わいた疑問がどうしても頭から離れず、実際にやってみたそうです。結果、ものすごい音とともに車は徐々に速度を落とし、やがて完全停止、その後、レッカーされて廃車になったそうです。
2096	父の話です。昔、満員電車から降りるとき、手に持ったカサを誰かが引っぱっていたので、

	取られるまいと必死で引っぱり返したところ、カサの柄だけが手元に残り、扉が閉まった。しかし「ちくしょー！」と怒る父のもう一方の手には、自分のカサがしっかり握りしめられていたらしい。柄のないカサをもっていった見知らぬ人、お気の毒です。。
2097	父は、その日に読んだ本や、観た映画の内容がよく夢に出てくるらしい。戦争ものの小説を読んだ日の父の寝言。「何でこんな所で死ななあかんのんや。犬死にや、犬死に。ズダダダダダダ(機関銃の音?)!!……ウッ！」と言って静かになった。夢の中で息絶えてしまったらしい。(たぬき)
2098	父はいつも失敗すると、「あっきさみや〜」と、本人いわく沖縄の言葉を発します。これは父の造語だと誰もが信じて疑わなかったのですが、ある日、家族でテレビを見ていたところ“障害を乗り越えて100万円!”みたいな番組の中で、沖縄出身の挑戦者の方が「アキサミヤツ」と叫びながら池に落ちていきました。お父さん、疑ってごめんね。(しかし父は石川県出身)
2099	父親が帰宅するなり、「おーい、テポドンもらってきたぞお」と声をかけてきたので、驚いた母親が駆け寄ると、父親の手には鮮やかな色合いの“デコポン”が握られていたそうです。(柑橘類)
2100	父親の小学生の時の話。「さいころを振って6の目が出る確率は？」という確率の問題。「出るか出ないか2分の1やんけ」って、2分の1と書きました。その後、母親に「そんな賭博師みたいな考えしとったらアカン」って怒られたらしい。

2101	部屋の観葉植物がしおれかかっていたので、旦那に水をやってくれと頼んだら水をかけて30秒ぐらい、つつ立ってじーっと見ていた。そして「元気になるよ？」……。そんなすぐになるか！あんたいくつだ！(29才)
2102	部屋の模様替えが好きな私。いつも、あまりに物が多くて収納場所に困っているので、先日思い切っていないものを大量に捨ててみた。最後に残ったのは、大量の収納グッズだった。(宣誓、百均卒業)
2103	部屋を整理していたら、幼稚園の頃のアルバムが出てきた。懐かしいなあと思い眺めていたら、将来の夢のところに「カブトムシ」と書いてあった。あの頃はなにを考えてたんだろう…。
2104	部下に、とあるイベントの入場者数の予測をさせていた。「1日に500人程度で、14日間の開催だから、500を14回足せばいいんだよ」とからかったつमりの私。部下は、「わかりました！」と電卓を手に、「500足す、500足す、500足す…アレッ、何回足したっけ??？」と。それを見てたそいつの同期に「おまえ、電卓の使い方を教えてやってくれ」と、私が呆れながら言うと、その同期は「バッカだなあ。500を押して、そのあと“メモリ+”のキーを14回押せばいいんだよ」と…。(かけ算の無い会社)
2105	部署のおじさんたちにパソコン教育をする係の私。先日、雷が鳴って恐かったので、ブラインドを閉めに席を立ったら、そのすきにも覚えの悪いおじさんAがぼそっとつぶやいた。「雷より、君が怖いよ……」いやいや、キミこそ怖いよ。
2106	部長が「いくら送ってもメールが戻って来ちゃうんだけど、Eは小文字で良いの」というので、とりあえず部長のPCをのぞいた。メールの宛先欄には「E-mail:xxx@xxx.xx」と入力されていた。「『E-mail:』はいりませんよ」というと「え！そうなの！」とやたらびっくりしていた。こっちこそびっくりしたよ！(しろちゃん)
2107	部長からメールが届いた。「新入社員の件、アホとつといて」。アポの間違いだとわかったが、次回からどういう基準で人選を行うのか一瞬心配になった。(敏腕社員♪)
2108	部長が現場に行くから作業服出してくれと新人の女子社員に頼んでいた。部長「作業服エロエロ」女子社員「色々ですか？」部長「エロエロだよ！エロエロ！」女子社員「…エ

	ロエロって」部長「サイズだよ～エロエロも持ってこいってば！」LLサイズと判断されるまで、事務所中エロエロを何回も連発していた。(えみちゃん)
2109	部長とランチにラーメン屋へ行きました。壁に貼ってあるメニューを見て部長は一言。「ひつじラーメンとひつじチャーハンなんてあるよ。ひつじ年にちなんでるのかねー、値段も安いし」……部長、それは半ラーメンと半チャーハンです。値段安くて当たり前ですよー、半分なんだから……とは言えませんでした。部長、そろそろメガネの買い替え時ではないでしょうか？
2110	部長は、コピーをとることを“焼く”と言う。コピー機のない時代は、皆そう言っていたそう。でも、「何部焼きますか？」と聞き返す私も、かなりオヤジに染まっているなあと感じる…。ヤバイ！
2111	部長は、決裁保留の時「その件についてはペインティングだ」と言っている。お前は絵描きか？
2112	風邪をひいたとき、友人に「風邪の治し方知らない？」と聞いたら、ビデオテープを貸してくれた。ビデオは「風の谷のナウシカ」だった。
2113	風邪を引いたので熱を測ったら、娘(3才)が体温計を覗き込んで一言、「どう？太ってた？」(我が家は体温計も体重計もデジタル)
2114	風呂場に並んでいるシャンプーやボディーソープ群の中に、ウエストを引き締めるローションとバストをふくよかにするローションがあった。うちの奥方は間違えて使っていると思えない。(OKMAN)
2115	副社長から全社員に、こんなメールが送られてきた。「誕生日のチョコレートありがとうございました。またの機会も楽しくのみましよう」。社内中この話題で大騒ぎ。数時間後「先ほどのメールは間違いなので、破棄してください」。遅いですよおー。
2116	物腰の柔らかいことで有名な後輩(男)は、電話でお客様にマウスパッドのことを説明するのに「マウスのお座布団」と言ったらしい。
2117	平仮名も全部読めるようになった5歳の娘が、いろはかるたを読んでいた。「知らぬが、ほっとけ」聞いていた全員が、笑った後、妙に納得してしまいました。当然、正しい言葉は教えていません。
2118	別の部署の上司から電話がきたのですが、携帯だったせいもあり、何を言ってるのか全く分かりませんでした。唯一聞き取れた言葉は、「オレが言ってることわからないか？」
2119	保健室の傷病記録ノートをめくっていたら、ケガの理由を書く欄に「自転車のライトを足でつけようとしたらひもがスポークに絡まって巻き込まれて転んだ。」というのがあった。
2120	保健体育の授業中、女性専用車両の話をしようとした先生が「痴漢専用車両がありますね！」と言っていました。
2121	母が、「防犯アラームって、カウントダウンショップに売ってるよね？」と言った。意味が分からないので詳しく尋ねると、それはディスカウントショップのことだった。(秒読み)
2122	母が、宝くじを買う予定の日をカレンダーに書き込んでいた。サインペンで「宝くず」。もう結果は見た。(まっくん)
2123	母が「何かおなかが痛いなあ」と病院へ。診察の時、先生に「どのへんが痛いですか？2段目？3段目？」と聞かれ、立腹して家に帰ってきた。確かに母のおなかは3段腹だけど、先生もうちょっとオブラートに包んだ言い方にしないと、患者さんが減るのでは…。
2124	母がメールのアドレス帳に、自分の友人のアドレスを入れてくれと頼んできた。アドレス中に「α」の文字があったので、念のために確認すると、私「お母さん、これって<アルファ>じゃ

	ないよね？」母「違うわ。〈プットマーク〉よ」……………プット？何を置くのだ母よ。
2125	母がラッコを見てきて行った一言。「可愛かったけどねー、ダム作ってなかったよー！」（それはビーバー）
2126	母が苺ジャムを作っていると、父が「もったいないから腐った苺で作れ！」と、言い出した。
2127	母と一緒にスーパーへ行った。お肉を見ながら母が、「あんまり安い肉は怖いなあ～狂乳病」…。狂う乳ですか？それはほんとに怖いです。
2128	母に、「そこで左クリック」といったら、マウスを左にもちかえ、右クリックをした。
2129	母にパソコンを教えていた時のこと。人差し指2本でがんばって字を打っていた母だが、よく見ると時々マウスを使う。簡単な文章を打つだけなのに、どうしてマウスを使うのだろう？と思って聞いてみると、「だって小さい『つ』が！」。どうも母は「がんばって」と打つのを「がんばつて」と打ち、『つ』だけ後からフォントサイズを変えていたらしい。（サイズ変換）
2130	母の軽自動車に、母と弟と私とばあちゃんの4人でぎゅうぎゅうになって乗っていたとき、急な上り坂にさしかかった。エンジンをフルにしてもなかなか登りきれないので、「ばあちゃんが乗ってるから重いんだよ」とみんなで言っていたら、「じゃあばあちゃんが腰あげとくよ」と言って本当に腰をあげていた。
2131	母の日の朝、4歳の娘に「今日は母の日だね」と言ったところ、「母って誰？ウチにはいないよね」というお言葉が…。娘よ、私があなたの母です。
2132	母は、私がパソコンを買った頃、「パソコン」と「インターネット」を混同して、よく言い間違えていました。でも時間が経つにつれて理解して、今じゃメールだって自分で送れるまでに上達！なのになぜか、「インターネット」と「ジャパネット（高田）」を間違えます。
2133	母親と喧嘩した翌日、お弁当を開けると「口ごたえの罰」と書いた紙とともに3合ほどもある白飯が現れた。
2134	宝くじ売り場での出来事。前の人が、連番で1枚ください。と言っていた。
2135	法規のテストで「ホテル・旅館の営業規則を決めた～法と呼ばれるものは何か？」という問題がわからず、仕方ないので「ラマーズ法」と書いた。
2136	忘れもしない小学校2年生の給食時間。八宝菜に入っている黒い物体を友達が「これ何ですか？」と質問したら、先生は「こうもりの羽だよ」と言った。その物体がキクラゲであることに気づいたのは、高校生になってからだ。
2137	忘年会のお知らせメールが届いた。それには「20世紀最後のプレミアム忘年会ですが…」と書いてあった。今年はおまけが付くのかな？
2138	忙しくて予定の時間を変えてもらおうと女性担当者に「時間調整お願いします」とメールしたところ、「調整できません」と返ってきた。よくみると「股間調整お願いします」になっていた。漢字変換のjiを、隣のkoで打ってしまったと気づいたが、質問の回答が気になる。（ブラインドタッチ失敗）
2139	某コンビニで、大きなお稲荷さんをつレジに持っていくとお姉さんが「こちら温めますか？」と聞いてきた。おもわず、「おいしいんですか？」と聞き返してしまった。
2140	某ネットワークプロバイダからの勧誘TELも、私のおじいちゃんには「安売りのビール」の宣伝としか聞こえなかった。「開栓はひとりでもできる」「ワシは昔からキリンじゃ」…5分ほど受話器を握り締め質問に答えるジジ様。「耳が遠くてよかったねジイちゃん！」
2141	某ファーストフード店でバイトしています。パンケーキのソースを「ブルーベリー、カスタード

	のどちらにいたしましょう？」とお客様に訊いたところ、「じゃあ、マスタード！」ときっぱり。ほんとにそれでいいですか？（スマイル0円の乙女）
2142	某ポータルサイトのニュースの見出しに「たまごに「生いたち」印刷」というのがあった。「な、なまいたちってナ！？」とびっくりしてしまったのは、私だけだろうか？
2143	某ホームセンターのチラシのなかにあった温水洗浄便座の蓋の機能説明。「ボタンと閉まらないボタンレス機能」平賀源内の命名だと感心した。
2144	某リゾートに、ラーメン屋で最近クレープも始めた店があるのだが、立て看には「Taku Out」とかかかれている。電話して「タク、いる？」と聞いてみたいのだが「今でかけてるよ」と言われそうでちょっとコワイ。（怪獣ガラポン）
2145	某競馬場から駅への帰り道、お父さんに連れられ「馬しかいなかったあ〜」と泣きべそをかいている女の子がいた。…お父さんに「動物園に連れて行くから」とか言われて来たんだろうな、多分。
2146	某航空会社で50機に1機の割合で乗客全員キャッシュバックというキャンペーンのCMを見ていて、私が「オー！一機全員か、スゴイ！」と言ったら中2の息子に「前回の50人に1人と確率的には同じだね。」と言われました。
2147	某社ウーロン茶のCMソングを集めたCDの宣伝帯に“ウーロン茶史上最高なごみアルバムです”とあった。そんなに価値のないゴミCDかと一瞬思った。（中身はゲー）
2148	某女性タレントのウェブサイトにも『結構、料理好きなんだー、いろいろ紹介するんで試してみてね』とあり、どんどんクリックしていった。今日のレシピ→中華→鳥のから揚げ→ピリッと辛口、ビールに最高！→材料…鶏肉・作り方…油で揚げる以上！…デスカ？
2149	某大学病院で子供を出産したときの話です。私の担当医が乳児を回診していたとき、子供の頭をなでながら「うすくな〜れ うすくな〜れ」とつぶやいて去っていきました。横で看護婦が「また呪いかけてる…」。その先生の頭はかなりきてました。
2150	某都立高校時代のこと。世界史の授業中、「じゃあ、このアウトローって言うのは日本語に訳すとなんだ？」との質問に、当時野球部だったN君は「外角低めです。」と答えた。それまでN君って、こんなトンチの利いた奴だったとは知りませんでした。
2151	某有名大卒の同僚（男性）が悲しそうな顔で「腎結石になってしまった。手術しないといけないうちも…」と不安げに訴えた。常日頃「俺は××大卒だ」と偉ぶってる同僚だが、かなり動揺していたのか「明日産婦人科に行ってくる」。いや、それはやめたほうがいいと思う。（けろよん）
2152	防災訓練結果の報告を受けていたとき、「トンネル内で多重衝突が起き、笠井が起きかけています」という通報受信の報告があり、担当係内は爆笑の渦。（寝かしとけ！）
2153	北海道から東北の農家に嫁いだ私。年に一度の親孝行と思い、この時期毎年、実家に新米を送っている。すると母が、以前あげた時に義父がとても喜んだ日本酒を送ろうと思立ち、私に銘柄を電話で聞いてきた。「ねえ、あのお酒、なんて名前だったっけ？えーと、親ごろし？」お母さん、そんな物騒なもの送らないで…。（孝行娘。）
2154	北海道に行った時、「高い山だし、北海道だから雷鳥がいるかもな」と、期待した父。ケーブルカーを降りたとたん大声で、「雷鳥だー雷鳥だー」と目の前のものを指差して大声で叫んだ。私達はよく太った鳩と父を残して先へ行きました。
2155	北海道の営業さんから設計部の私へ「田村です。部品を2ヶ至急製作して、北海道営業の小生宛に送ってください」とメールが入ったので、「頼むね。送ったら到着予定を教えてね」と追記して製造部門へ転送した。2日後「北海道営業の小生様宛部品。○月○日到着予定」と返信がきた。小生って、私って意味なんだけど…。

2156	僕が、中学2年の時、体育のテスト(筆記)がありました。その中の問題に、跳び箱の技名を答える問題があって、僕はわからなかったので適当に書けば合ってるだろうと思い、「ムーンサルトバックフリップ」と書いてしまいました。(実際にそんな技はない。)もちろん、間違っていたのですが、テストが返された数日後、うちの部活の顧問(体育教師の補助的存在の先生)によびだしをくらって、なんだあの解答は。やれるもんならやってみろと馬鹿にされました。なんでテストの採点をしていないのに僕の解答を知っているのかを聞いてみると、採点をしていた先生に珍解答といって見せられ二人で大爆笑していたそうです。このほかに、ロイター板のことをジャンプ台と書いたりしていました。
2157	僕があるアメリカのホテル玄関前で、タクシー待ちをしていたら、宿泊客らしい日本人の男性客がロビーから玄関に出てきて、タクシー乗り場にいたベルボーイに、「ヘイ、コール・ミー・タクシー」と言った。僕が「イエス、ミスター・タクシー」と小声で言ったら、そのベルボーイは「兄ちゃん知ってるねえ～」と笑いながら英語で応えてくれた。日本人英語は時にかわいい。(ベルボーイ)
2158	僕の妻(京子)は、電話で「お名前はどの様な字を書くのですか？」という質問に「北京の京(キン)です。」と、きっぱり答えていた。
2159	僕の大学時代の研究室は教授の名前から「鳥脇研究室」通称「鳥脇研」である。外から電話がかかってくると「はい、鳥脇研です」とごくまじめに応答すると、相手が戸惑っていることがよくある。相手は電話口でいきなり「鳥は危険です」と言われても何が何だか分からないらしい…(教授、実名でごめん)
2160	僕の彼女が男友達と買い物に行った時のことです。その男友達は、最近気になる娘がいるらしく、「女の子がプレゼントされてうれしい物を一緒に選んでよ」と言われ、彼女は「よし、私が一皮剥いてあげる!」と言った…。『一肌脱いであげる』と言いたかったらしい。人の役に立つことは良いことですが、それだけはやめて下さい。
2161	僕の名前は最後に「行」がつきます。以前、返信用封筒に住所と名前を書いて先方に送ったら、ご丁寧なことに、「行」が消されて、「様」の印が押されてました。ちゃんと先方の指示に従って、名前の後ろに「行」は書かなかったんだけどなあ。(なんか複雑な感じ)
2162	僕の友人「江口」が仕事帰りにうっかり名札を付けたまま合コンに行った。緊張した雰囲気の中、女の子が真顔で「エロさんって変わったお名前ですね」と言うのでおもわず彼の名札を見ると、確かにスーツの襟に少し隠れた名札に大きく「エロ」と書いてあった。
2163	僕はローマ字入力の時に「し」を「shi」と入力するのですが、左手よりも右手の反応が早いらしく、よく「hsi」となってしまいます。この間上司に「お願いします」と入力したつもりだったのですが、「お願いhします」と打って出してしまいました。上司からの熱い視線が、チョット怖いです…。
2164	僕は小学校の頃、再生紙使用の教科書を見て「再生するんだ!」と思って教科書をやぶりました。
2165	僕は土木作業員。朝、「あぶないからはいってはいけません」の看板を立て作業を開始!しばらくして幼稚園児の散歩集団が目の前を通過した時、1人のお嬢ちゃんが「入ってはいけませんって書いてあるのに入ってる～」と言い出し「い～けないんだ～いけけないんだ～」の大合唱。慌てふためく保母さんに、泣き出しそうな僕……冗談で園児に「ここから出たほうがいいかな?」と聞いたら「そのほうが身のためだよ」と言われた。
2166	本屋さんでバイトしていました。書籍には「カバーをおかけしますか」とお客さんに問いかけるのですが、一緒にレジにいた先輩の女性、「こちら暖めますか?」。コンビニとかけもちで寝不足だったらしい…。(ふらっと)
2167	本屋で『粗食のすすめ』という料理雑誌を見ていた夫が、「うちの食事より豪華だなあ」とつぶやいていた。

2168	本屋で『粗食のすすめ』という料理雑誌を見ていた夫が、「うちの食事より豪華だなあ」とつぶやいていた。
2169	本屋で買い物したときレシートはいらなかったので、「レシートはいいです」と言おうとしたら間違えて「消費税はいいです」と言ってしまう、店員に「少々お待ちください」と言われた。あっ！間違えたと気づいたが何もいえずに待っていたら、なんと店長が来て一言「当店ではそのようなサービスは行っておりません」（5%ぐらいいいじゃん）
2170	本社の新社長（31歳）が就任の挨拶にいらしたとき、新人の受付嬢が、「いらっしやいませ、就職希望の方ですね！こちらへどうぞ」と応接室に案内していました。部長が謝ってましたが、新社長は楽しそうでした。
2171	本日届いた打ち合わせの返信。「〇〇は、3月50日を予定しております。よろしくお願いします」。
2172	本部長の口癖は「締め切り厳守！」。「守らない人間は決まっているから、会議資料や報告書などは余裕を持って出すように」と朝礼のたびに言う。「本部長、今回もまだですよ！早く出してください！」なんて、やはり言えません。（アサヒナ）
2173	妹が3歳くらいの頃、ママに怒られ、「きちんとママにお話できるようになるまで、トイレに入らなさい！」と言われ、トイレに押しこまれた。数分後、トイレから出てきて、「きちんとママに言える？」と聞かれた妹は大きくなずき、「あのね、あるところに蛙の親子がいてね……」妹は必死になってママにしてあげる「お話」を考えたらしい。
2174	妹が悪さをして泣き叫んだので、おとなしくなるまでそこにいなさい！と母がトイレに閉じ込めた。しばらくギャーギャー泣き叫んでいたがそのうちおとなしくなり、そろそろ反省したかと思った頃、トイレから悲鳴が聞こえてきた。トイレットペーパーを大量に流してトイレが詰まり、洪水が起きていた。母はそれに懲りて、次は風呂場に閉じ込めることにした。彼女がおとなしくなってから母がドアを開けたとき、湯船からはもうもうと泡がたっていた。ありったけのシャンプーとコンディショナーを湯船に張ってあった水に入れたらしい。自分の妹に感心した。（目撃者の姉）
2175	妹が夕食にスパゲティを作ってくれることになりました。妹は、「今日はカルボナーラを作るね」と母に言っていました。夕方、私が外から帰ると母が、「もうすぐボラギノールができるってよ」と言いました。ソレって痔の薬じゃ……
2176	妹と祖父に習字を習っていた時の事。祖父が妹に一喝。「みみずのシッポみたいな字い書くんじゃない！」……………しっぽ？
2177	妹は赤いカードの〇〇というデパートに勤めていた。あるおじいちゃんのお客様にカードを作りませんかとお願したところ快くカードを作っていただけのことに。書類に記入していただく際、暗証番号を書く□□□□の欄のところにきておじいちゃんの手が止まってしまった。ここは？と聞かれた妹は「おじいちゃんの好きなのでいいですよ」と答えるとおじいちゃんは「テン・プ・ラ」と□□□□の中に書いていた。好物は天婦羅なんですね、おじいちゃん。
2178	毎週のことなのに、新聞テレビ欄の「中居正広のキンスマ」の「ス」を、どおおしても「夕」と読み違えて、毎回ハツとするのは私だけ？
2179	毎朝、車で通勤する私。いつもの交差点で信号待ちをしていると、ランドセルを背負った小学2年生くらいの男の子が、横断歩道の前で一人で信号待ちをしていた。…とその時、その子がおもむろに信号機に向かって「かめはめは一！」その瞬間、信号は青に。。。スゲーと思った。
2180	毎日、管理職の人たちに回覧を発行している。「大至急」の回覧なのに、いつも1ヶ月位かかって戻ってくる。ところが今日は、3日で戻ってきた。感心しつつも驚いたので内容を見てみたら、英文で書かれた資料だった。仕事なんだから、英文でもちゃんと読まないとい…。

2181	毎日コンビニで昼食を買っている。先日何気にレジの年代別ボタンのところを見ていたら「40代男性」の水色ボタンをおもいきり押された…(ほんとは30代女性)
2182	毎日園芸熱心なおじいさん。先日通りがかったら、雨の中、傘を差しながらジョウロで水をやっていました。
2183	毎年、新入社員に呆れさせられますよね。今年の新人君(大卒)に一昨年入社の上君(大卒)君がなにやら教えていました。「丸い方をこう持って、紙をこう挟んで。。。」なにを言っているのかと思ったら、クリップの使い方をとても真面目に講義していた。イスからずり落ちそうになった。22年間!クリップと遭遇したことの無い人生って何?(フカッチ)
2184	毎年行われる異動希望調査。新人のT子は自分の異動希望ではなく、K課長を他部署へ異動して欲しいと記入して提出してしまった。課長はせつない顔で修正液でそれを消してから部長へ提出していた。
2185	満員電車の中で、マナーモードにしていた携帯に電話がかかってきました。同時に、隣の女性の顔色が変わるのが分かりました。よく見ると、ちょうど、女性のお尻に携帯のバイブが密着…!「痴漢」と騒がれるのではないかと、朝から顔面蒼白でした。
2186	無差別にかかってくる営業電話。私が受付をする時は「うちの社長は外人です。お返ししますので英語で売り込みをして貰えますか?」という一言がキメワザでした。しかしある日いかにもまだ経験の浅そうなぼくちゃんがかけてきた時、しばし考えた末「ぼく、やってみますっ!」と言われたのでその根性を買って回してあげました。あとで社長に「日本語をしゃべれない奴を回すな!」とこっぴどく怒られました。それ以来「うちの社長は外人です。ベトナム語でお願いします」に変えたら今のところチャレンジャーはいません。
2187	無料配布冊子の「おしゃべり給湯室」というコーナーを読んでいたら『笑えないよお〜、勘違い話』というテーマで、こんな話が載っていました。「お母さんと間違えて、知らない子が私の後についてきて、気がづいたら泣き出しました。あやめるのに1時間30分かかりました」
2188	娘(小4)の国語のテスト。問題「いわば」と言う言葉を入れて文章を作りなさいという問題に、娘は「いわばのかけからカニが出た」と美しい字で書いてました。担任の先生の三角つけてくれましたが線が震えてました。爆笑していたかも。
2189	娘が、「おかあさん、私いぬそば食べたい」といった。いぬそば?なんだ?と聞き返すと、「ほら、ちいさいお椀でいっぱいおかわりする…。ああ、わんこそば。
2190	娘が2才のとき、購入して4、5日しか経っていないひらがなのパズルを丸暗記していたので、驚いて「あんた天才?」と聞いたら、「ううん、2才」と答えた。
2191	娘が4歳ぐらいの頃、アパートの隣の部屋に住む、フィリピン人日本人のハーフの男の子が遊びに来るようになりました。そんな彼は娘の名前を覚えてくれず、「おんないる?」と言って訪ねて来ます。そりゃ間違っていないけど…。
2192	娘が4歳の時はじめてスキーに連れて行くことになり、予行演習をしていた。私「足をね、『ハ』の字に開くんだよ」娘「できないよ〜」私「どうして?簡単でしょ?『ハ』の字だよ、『ハ』の字!」必死に教えるのだが、娘は絶対できないと半泣き。彼女がまだひらがなしか読めないと気づいたのは、しばらくしてからだった。
2193	娘が高2の夏休み、高校野球の応援に備えて、毎日屋上でブラスバンドの練習をしていました。「夏バテでごはんがたべれない」と言うので、「先生に冷蔵庫に入れさせてもらって、お昼に食べなさい。」と、3日続けて朝畑へスイカを取りに行き持たせました。「お弁当代わりに3日もスイカをもってくるなんて、高校始まって以来」と先生に言われたとか。次の日は、メロンにしました。
2194	娘が字を習い始めた頃の事。牛乳の紙パックを見て「お母さん、牛乳の人はえらそうに言うんやね」と言うので「何で…?」と聞くと、「あけろとかいてある」よく見ると…あけ

	ロ…と書いてありました。最近の牛乳パックには、あけぐちと書いてあります。
2195	娘が小学校に入ったばかりの頃、友達が自慢げに、「うちのおじいちゃん、盗聴器使っているんだよ」と言っていた。それって、補聴器の間違いじゃ…。
2196	娘が小学生の時、「外国の地名を使って駄ジャレを作ってください。」というしょーもない宿題がでた。クラスの友達がほほえましい作品を提出する中、ウチの娘の作品は「アラ、スカしちゃった。ごめ〜ん」というものだった。
2197	娘が小学生低学年の頃「水という漢字をつかって言葉を考えなさい」という問題で、娘は「水ミング」と書いていた。丸がしてあった。確かに意味は通じるけど…。(姫ちゃん)
2198	娘が中学生になり初めての中間。社会のテストの時のこと。『表を見て答えなさい』の問題を『(紙の)表(おもて)を見て答えなさい』と勘違いして、問題用紙をひっくり返して『何も書いてない…』としばらく困っていたそうです。っていうか…それは、裏！でしょう?! (まぴ)
2199	娘にインスタントラーメンを作っている時、「ママ、ヨルノカラダスूपって何？」と聞かれ、ふと手元を見ると、液体スूपの袋を持っていた。
2200	娘の結婚式でのこと。最後に娘が両親に挨拶するとき「お父さんお母さん、私は△△家の長男として生まれ…」。本人いわく、あがっていてまったく気付かなかったそうです。

2201	娘の誕生日に、私の母が「何がほしいの？」と聞くので、ジブリアニメの好きな娘のために「『もののけ姫』のビデオがないから買ってくれる？」と頼んだところ、即行で店に行った母は、店員さんに言いました。「『けものみちの女』のビデオ下さい」…。ちゃんと、『もののけ姫』のビデオは届きました。ま、なんとなく通じたみたいです。(早とちりの母の娘)
2202	娘の友達(小4)は、いつもパパとお風呂に入って観察をしていたらしく、「パパのちんちん、いつもはピンクなのに、今日は、紫だったんだよ！」と娘に相談。娘は、真剣に「じゃあ、今日からパパのちんちん日記をつけたら？いつか虹色になるかもよ」と答えていた。(家は、母子家庭でパパはいません)
2203	娘は年に2〜3回自動車を運転する程度の初心者。久しぶりに我が家に帰ってきて、家族で落探りにいくことに。「私が運転する」という娘に、祖母が一言「気をつけてよ。あんたはハカバマークなんだから」(それを言うなら若葉マークでしょ)
2204	娘を学校に送った帰りしな、同じく子供を学校に送りに来たお父さんに、4歳の息子はかかとを踏まれ靴が脱げてしまった。息子はそのお父さんに助けってもらって靴を履かせてもらったので、息子に「なんて言うの？」と言ったところ、「あんただれ？」とのたまった。そのお父さんも困って、「ただのおじさんです」と。普通に“ありがとう”と言ってください、息子よ。
2205	明治生まれの祖父は、食べ物を残すことに抵抗があるようで、麺類のスープまで全部飲んでしまう。だが、最近では糖尿病&高血圧がひどいため、麺を食べ終えた時点で家族が食器を下げるようにしていました。ところが、ある日の昼食にうどんを出したら、祖父は先に汁を飲み干していた。学習していた。(今では103歳☆)
2206	姪が、ホームルームで担任の先生と犯罪について話をしている時、先生「では、たとえばテレビなどでサスペンスドラマを見ているとき、〇〇さんなら何をヒントに真犯人を探し出しますか？」姪「配役を見て！」先生「あっ！ああ〜」姪も姪だが、先生のたとも思いつきとしか考えられない。
2207	姪が遊びに来た時、「早く寝なさい」と怒られた。姪はとっさに「パパにはまだ寝ないでっいつも言っているくせに」。周囲は返す言葉もなく、父は話題をそらしてしまった
2208	滅多に手紙を書いたことがない、という田舎の祖母(85歳)からふるえる筆跡でハガキをも

	らいました。目頭を熱くしつつ読んだところ最後に“平成2003年5月19日”の日付が。婆ちゃんがんばって長生きしてね。陛下もね。
2209	免許取りたての友達の車で首都高速に乗ったときの事、運転に一生懸命な彼は、料金所で元気に「お台場まで！」と言っていた。それを聞いたおじさん、それにあわせて「はい！700円です。」と丁寧に答えてくれた。車内は大爆笑だった。(首都高は一律700円)
2210	猛暑で体調を崩した私。病院に行き、血液検査までしてもらった結果、軽い脱水症状を起こしており、血が濃すぎる事が判明。点滴をすることになった。点滴の容量が500mlと大量であることに気付いた私と看護師との会話。私「量ありますね、どれくらい時間かかりますか？」看護師「1時間くらいです」私「もっと早くできませんか？」看護師「早くはできませんが、心臓にすごい負担がかかるので、心臓止まっちゃうかもしれませんけど、やってみます？」私「…普通でお願いします」
2211	問い合わせの電話で、相手の住所を聞いていた時のこと。客「〇〇市なかがわ町～」:私「真中の中に三本川のカワですか？」:客「いいえ、三途の川です」:私「……？」:客「三途の川です」:私「三途の川??……ですよ？」(「だから、三本のカワだろがっ?!」)……しばしの沈黙……客「(爆笑!)さ・ん・ず・いのカワです！」一緒に笑うしかなかった。スンマセン…。
2212	夜、街灯の少ない暗い道を歩いていた時のこと。メールが着信したのでケータイを開いた。しばらくたってすれ違ったサラリーマンらしい2人組が遠ざかりつつこんなことを言っているのが聞こえた。「白い顔が急に浮かんですごくびっくりしたけど、お化けじゃなくて化けモンやったな」そりゃあんまりでしょ。(地獄耳付き厚化粧)
2213	夜、妻が背中を丸めてため息をついた。背中を見ながら、「どうしたんだろう?」と思っていると「油田は無理ね」とつぶやいた。えっ!?何を指していたのだ、妻よ…。(一介のサラリーマン)
2214	夜、酔った勢いで女房(45才)に「お前は女として賞味期限が過ぎている」と言ったら「そう言うあんたは使用期限が切れている」と言われた。返す言葉が無かった…。
2215	夜の神戸三宮の駅前で、妻がああ「オイオイ」というのは何?と指差す先には「OIOI」のネオンサインが…(う～む、そう読むか～)
2216	夜の電車で私の前に座っていたお姉さん。右手に開いた携帯を持ったまま酔っ払って爆睡しています。携帯がずり落ちて上半分を握っていたのですが、眠っているのに親指立てて液晶の所をコツコツと押していました。意識がなくてもメールしてる!?(私も酔っ払い)
2217	夜中、マナーモードにしていた携帯がブルブル鳴った、ような気がした。熟睡中に飛び起きたら、だんなの長っ屁だった。
2218	夜道で近所のネコが「遊んでくれ～」とばかりにすり寄ってきたので、そこらに生えているネコじゃらしてで応戦してやっていた。そこへ母子が通りかかり、幼稚園児:「あ～、ネコじゃらしてるう。」(←なぜか小声)母:「しっ!見るんじゃありません!!」(←足早に通り過ぎる)……変質者扱い?
2219	野球の中継で、2-3のカウントの時に言う「フルカウント」とは、「振るカウント」→「バットを振るべきカウント」だと思ってました。何で2-3の時だけが、「振るカウント」なのか釈然としないままに野球中継を見てました。
2220	野中広務元幹事長が涙目になりながら引退宣言をしたニュースを見た小5の次女がひとこと。「男が涙を見せていいのは男のロマンを打ち砕かれたときだけだ」(返す言葉がなかった4姉妹の母)
2221	野田課長はメモを残す際、最後に「ノダ」と書く。先日、〇山さん宛ての電話を受けてメモを残したのだが、そのメモを読んだ先輩が「どこかにバカボンのパパがいる!」と言った。そこには「電話がありましたノダ」とあった。

2222	約20年前、私の通っていた大学の学食にあるサンプルケースには、次のような注意書きが貼られていました。「カレーに木の葉が入っているという苦情がありますが、これは香辛料です」
2223	約束してた彼女からメールが届いた。「5糞ぐらい遅れます」。…遅れる理由が想像できた。(ふんころがし)
2224	薬局に張ってある便秘の薬のポスターにうんちクンの絵が描いてある。それをじーっと見ていた2歳の娘、5秒ほど考えた後おそるおそる鼻を近づけニオイをかいでいた。(くさかった?)
2225	薬局へ買い物に行きました。買い物かごの中の私の生理用ナプキンをみて息子(小2)が「俺、もうそれいらんのやけど…」と大きな目を見開いて、うるうるしながら私の顔を見ます。どうやらおむつだと思っているようですが、私がするおむつだとはとても言えませんでした。いずれにしても心配するに違いありません。母の頭を…。(プレゼントだと言って納得してもらいました)
2226	友だちがマジな顔で「旦那と勉強する」と言うので「偉いやん、がんばりな」とエールを送ると、「がんばる」と友だちは頷いた。そして、友だちは旦那と別居し、離婚した。…勉強→別居…私の聞き間違いだった。
2227	友だちが近所の衣料品店にシャツを買いに行った時の話。そこでは、買ったシャツに無料で胸や袖のところにネームやロゴを入れてくれる。店主のおばちゃんに「この胸の部分にワニ入れておいてよ」とお願いした。某ブランド風シャツにするためだったが、数日後、手渡されたシャツの胸には、「わに」の文字がきれいに縫い込まれていた。それもひらがなで…。
2228	友人(女性)が結婚することになり、ある相談で電話してきました。友人「婚約者の姓が『脇野』っていうんだけどどう思う？」私「別に…、あっ！」友人「…やっぱり、やめた方がいいよね？」その子の名前は『かおり』。結婚したら『わきのかおり』になってしまう…。『水田麻里』さんが『織田麻里』さんになることも。
2229	友人Aちゃんは看護師、ダンナ様は消防士とお互い夜勤のある仕事。たまたま二人とも休みが同じで家にいたところ、彼女は「三日間もダンナがいるんだよー」と愚痴っていた。普通の家庭はそういうものです。
2230	友人IIIに借りた日本史のノートによると、織田信長は「本能寺の恋」で明智光秀に破れ、自決したらしい。
2231	友人が、恩師の携帯にメールを出したのですが、「先生！お久しぶりです！インターネットをもっと賢く利用したいならMSNE Explorer。無料ダウンロードはここをクリック」となってしまう、えらい怒られたそうです。
2232	友人がマックのドライブスルーに寄った時の話。店員さんが「お持ち帰りですか？」だって。「ここで食べます」って言ったらどーするんでしょう？
2233	友人から「誕生日プレゼント送ったからね」とメールが来た。楽しみに待っていたら「代引き」だった…。えっ？私が払うのか？(HAPPY BIRTHDAY to me)
2234	友人から「鏡の中からマリオネット！」とだけ書かれたメールが携帯に届いた。一体ナニを見たのだろう？
2235	友人から聞いた話です。課内で「〇〇君はジャニーズ系だね」とみんなで言っていたら部長さんが「そうか、あいつはチャイニーズ系か」と納得したそうです。
2236	友人が勢い良く「コインロッパー！」と言った、ので「は？」ときき返した。彼は小さな声で「…コインロッカー、イッパイ」と呟いた。

2237	友人が父親と某ドーナツショップへ行ったときのこと。お父さんは飲茶セットを「いんちゃセット下さい」と言い放った。「お父さん、それやむちゃセット」と友人が訂正したら、お父さん真顔でひとこと「いつから?」。いつからなんでしょうね?
2238	友人たちと3家族で一緒に食事をしていたときの出来事です。テレビで野生の王国のような番組をやっている、カバの交尾が始まりました。ちょっと食事時には不似合いだなと思っていた矢先、友人の子供が「このカバさんお父さんとお母さんとおんなじことしてる!」と口走ったのです。その瞬間大人たちは全員凍りついてしまいました。子供って結構見てるんですね。
2239	友人とラーメン屋に行ったときのことで。お店の人が注文を聞きに来た時、「サービスでごはんかライスが付きますか?」と聞いてきたので、友人は「ごはん!」自分は「ライス!」と答えた。出てきたものは同じだった。本当は「ごはんかたまご」だったらいい。
2240	友人と行ったグアム観光。現地のガイドさんが遠くに移る島影(サイパン)を指差し「あれ、北海道!」と真顔で冗談を言った。それを聞いた友人は「なんか生唾な話だねえ」と言った。
2241	友人と餃子専門店に行った。「先に使って」とラー油を差し出された。私が使った後、友人は一生懸命に下に沈んだ香辛料をかき回して「こここの『ラー』辛くて好きなの。」と言った。友人はラー油の油部分が『油』で、沈んでる香辛料を『ラー』だと信じていた。
2242	友人に「タバコ吸ってもいい?」と聞いたら「吸ってもいいけど吐かないでネ!」といわれた。
2243	友人に「タバコ吸ってもいい?」と聞くと「吸ってもいいけど吐かないでデネ!」といわれた。
2244	友人に借りたETC付きの車で高速に乗った。入口料金所を快適に通過。出口料金所でいつもの癖で一般レーンへ。料金所のおじさんに「一般車がETCレーンにはまる人は結構いるが、ETC車で一般レーンにはまった人は初めてだ!」といわれた。
2245	友人に彼氏を紹介しようとしたら「この人」と「彼」が混ざって「これ」と言ってしまった。(はしよりすぎ)
2246	友人の「ソエツキデータ」という意味は添付データのことだった。聞き流してしまった…。
2247	友人のおじいちゃんのお葬式で、少し呆けているおばあちゃんの近くにハエが飛んできた。おばあちゃんは「ほら、きつとおじいちゃん came たんだよ…」と神妙な面持ちでつぶやき、ハエを叩き潰した。(べし)
2248	友人のお母さんの話です。友達と海外旅行に行くことになり、飛行機に乗るのが初めてなので、娘にあれこれ質問してきたそうですが、その一つに「成層圏突入の時はどうするの?」というのがあったそうです。
2249	友人のカオリが、アキヒトさんと結婚した。最初に祝辞に立った新郎の上司が、開口一番、「アキヒトくん、カオリそん、…」とやらかした。その日の披露宴の間中、「すみまそん」「おかわりくだそん」と、そんばやりだったのは言うまでもない。
2250	友人の家に電話をかけると、時々、お姑さんが電話をとる。「坂本ですが、〇〇さんいらっしゃいますか?」と聞くと、「あ〜はいはい、坂本さんね。」と確認した後、電話の向こうでは「〇〇さ〜ん、渡辺さんから電話よ〜」といつも改名されている。
2251	友人の結婚式で。新婦の叔母はスピーチのとき、緊張のあまり開口一番『もしもし…』と言った。新婦と目が合ったわたしは、笑いを堪えることができませんでした。(新婦は目を見開いて一生懸命耐えていた)
2252	友人の結婚式に出席できなかった先輩が寄せたメッセージ。「仕事が忙しく、出席できずに

	申し訳ありません。この次は必ず出席しますので、また呼んでください」っておい。
2253	友人の子供(小2)は、夏休みの宿題の読者感想文を、いやいや書き、鶴の恩返しを読んだ後、2行で「鶴が化けると思いませんでした」と書いた。
2254	友人の息子(10歳)はふざけたことを言ったあとの「冗談！冗談！」のことをいつも「じょーらん！じょーらん！」と言う。もちろんふざけて言っているのだと思っていたら…、初めてくれた手紙のギャグの後に「ジョーランです。(笑)」と書いてあった。「(笑)」なんて言ってる場合じゃない！
2255	友人の息子(5歳)は関根勤もビックリの非常に濃い顔立ちで、マツゲなぞは太く長いのがびっしり生え揃っている。「長いマツゲですね」と言われ続けているので、最近では「ツゲマツゲ」ですと答え、相手を仰天させることにしているらしい。目覚めるかもしれないね。
2256	友人の彼女は、ものすごい、すっとぼけぶり(でもカワイイ!)で友人間でも有名。その友人は沖縄出身。ある日、沖縄のポピュラーなおみやげの“ちんすこう”を携えて彼女の実家に一緒に遊びに行ったそう。おみやげを食べながら、彼女の父「いや～、おいしいね！この“すうちんこ”！」彼女「ホントおいしいね！」父娘共々すっとぼけるにも程がある、と突っ込むこともできなかった友人は嘆いていました。
2257	友人の父は、娘の旦那様の母親(アメリカ人)と再会したとき、4月なのいきなり「ハッピーニューイヤー」と言ったそう。
2258	友人の娘(5歳)が、ある日大きな声で「オレ、オレ！」と叫んでいた。普段、わりと言葉遣いがいい子なので、びっくりしたお父さんは諭すように「女の子なんだから、オレなんて言っちゃだめだよ」と声をかけた。娘はちょっと考えてから、また大きな声で「♪ワタシ～、ワタシ～、マツケンサンバ！」と歌ったそう。
2259	友人の娘(4歳)の保育園に飾る七夕短冊の願い事は、『ナスが食べたい』だった。おもちゃが欲しいの短冊が多い中、輝いて見えた。
2260	友人の履歴書を見せてもらいました。本来なら【京都】府【京都】市と書かなければいけない住所記入欄に、【京】都【左京】区と書いてありました。
2261	友人の話です。家電屋で買物をしてレジで支払いをする時、「お客様、大当たりです！本日のお買い上げ製品全て無料になります」と言われました。店長が来て「おめでとうございます！」と言われたり、店内放送で大勢の人が集まって来て大変でした。その時友人が買ったものは乾電池4個パック1個でした。
2262	友人は化粧品屋さんで海綿のようなスポンジで出来たファンデーションのパフを買いに行った時、大声で「すいません、海綿体ください」と言った。
2263	友人は最近よく見る散らかしっぱなしで片付けられない女の番組を見て自分とそっくりなので、自分もADHDという病気に違いないと思い込んだ。その日、彼女はご主人の帰りを待つ勢いこんでこう言った。「あなた！実は私、ADSLなのっ！」ご主人は答えに困って固まっていたそう。(ぽてこ)
2264	友人数人と飲み屋に行ったときのこと。店に入り、注文をひとつおとり済ませて、各自、頼みたいものは全部たのんだな、という感じでみんなで顔を見合わせて、店員に「じゃ、とりあえず(以上で)…」と言った。すると数分後、店員がもってきたつまみが一品多い。不審に思った私たちがメニューを見て発見したのは「鶏和え酢(とりあえず)」なるつまみだった…。(まぎらわしいぞ！)
2265	友達M雄と現在、教習場へ通っています。先日、無線教習でM雄は踏切にさしかかったのですが、窓を少しあけて踏切音を聞く動作を忘れてしまいました。無線で教官に「踏切で止まったら何をするのか？」との問いに……奴はいきなり発煙筒を発火！踏切の前で教官(無線指令塔)に向かって発煙筒を振っていた。

2266	友達が「りんごをかじるとバナナから歯ぐきが出ませんか？」などと言いながらりんごを食べていた。言いたいことはわかるが、何もかも間違えてると思う。(たのむよ)
2267	友達がおじいちゃんの誕生日にファックスを送ったそうです。するとしばらくしてお礼の電話が。そのときのおばあちゃんの一言。「よく憶えてたわねえ～、おじいちゃんの命日」おじいちゃんはまだまだ元気に健在です……。
2268	友達がスーパーでバイトをしていたときの話。バイト仲間のA君とB君の会話。A「B君、このラベル(烏龍茶を手)に『とりりゅうちゃ』って書いてあるよ」B「なに言ってるの、『とりりゅう』じゃなくて『からす』って書いてあるじゃん。間違っていないよ」A「ばかだね～B君、『からす』は『漢数字の九に鳥だよ』」B「それは『はと』だよ……」そこには大爆笑している友達がいた。
2269	友達が教習所に通っていた頃、教習が終わり彼女が助手席に、教官が運転席につき車庫へ運ばれていたときの事。彼女は突然、教官用のブレーキをフルで踏んだそうです。「何をやるっ！」と言う教官に対し、彼女いわく「スピードの出しすぎです！」教官にとって初めての経験だったそうです。
2270	友達が結婚することになって苗字が綾野(あやの)になることになった。子供が出来たら名前は「みや」にするとはりきっている。あやのみや…お前は公家か?(ちえぞう)
2271	友達が彼氏にふられて随分落ち込んでいた。そして、ひとこと。「もう、不幸のズンドコだよ！」言いたい事は痛いほど分かった。
2272	友達とハイキングにいったが、どうも道に迷ったらしい。「おかしいなあ～この道に出るはずなんだけどなあ…」と地図を見ながら言っている彼の指先は、ふっとい等高線をさしていた。翌日の朝刊の見出しが思い浮かんだ瞬間だった。
2273	友達と飲んでいたら、ジントニックを注文した人がいた。その時はじめて整髪料でない事を知った。(下戸)
2274	友達に「就職活動の資料請求の際、葉書に企業名の後は「様」ってつけるの？」と聞かれたので「御中(おんちゅう)の方がいいよ」と言ったら「〇〇会社 Want You」と書いて本当に投函してしまったらしい。その後彼は「資料が届かない～」と嘆いていた。
2275	友達に送るつもりで恋愛話メールを間違えて、電話帳で友達の名前の一つ上に登録してあった仕事先の上司に送信してしまいました。送信した瞬間にアドレスが違う事に気がついたけれど、途中でとめる機能なんて無し。「なんとか止めなきゃ！」とテンパっていた私は思わずケータイをベランダに叩きつけ、無残にもブチ壊してしまいました(トホホ…)。オマケに上司にはキッチリ届いていました。ガクリ。(リンコ)
2276	友達のMちゃんは「胸にシコリがある、乳癌だったらどうしよう」といって接骨院に行った。なんで接骨院なの?(結果は異常なし)
2277	友達のいとは自分の子供にメロンのことを、「またメロン」だと教えていたそうです。よその家やお店でメロンが出てくると、その子供はすかさず「あ、またメロン！」ちょっとしたブルジョア気分を味わえたそうです。
2278	友達の家の近所で強盗があったらしい。彼女は「着ぐるみはがされたらしいよー！」と頬を紅潮させて話していた。「身ぐるみ」だよな?)
2279	友達の子供、りこちゃん、9歳がヒザを4針縫う怪我をした。診察台に寝かされ、自分で治療を見届けられない彼女は泣きじゃくりながら「今、いったい何してるんですかあああ」を連発。あまりにうるさいので母親にハンドタオルを顔にかけられ「違う質問をしてみたら？」と言われ「おに一さん、何歳ですかー？」と言った。
2280	友達の姓には「尾」という字が入っている。電話で名前を漢字でどう書くのか尋ねられ、「尾」を説明するとき、「えーっと、尾っぽのポです。」と答えていた。(どんな字やねん)

2281	友達の弟の同級生の話。そいつは学校でふざけて友達にカンチョウをして指の骨を折った。
2282	友達数人の結婚が相次いで決まったので「なんか置いてかれる感じ」とメールに書いたら「老いて枯れる感じ」と変換された。より一層ブルーになった。(ゆみ)
2283	有楽町の駅のホーム。液晶テレビを手に持つ、吉永小百合のポスターを見つけた私の母上。「ねえねえっ！お母さん絶対にあのテレビ買うわよ！水晶テレビ！」。…過去も未来も見えそうです。
2284	有名温泉の巨大旅館の大浴場で心も体もリラックス、つついガスを放出してしまった。泡は何とか隠したものの、漂う臭気はまるで卵の腐ったような匂い。「ああ、やってしまった」と小さくなっていると、隣で「ああ、やっぱり、温泉らしい硫黄の匂いがするねえ」「ああ、本当だ」などと会話するのが聞こえる。ごめんなさい、この温泉は硫黄分は含まれていません。
2285	郵便局の窓口で、おばちゃんが「ハガキちょうだい」と言ったので、局の人が「インクジェットもありますけど？」と答えた。おばちゃんは「安いのでええわ」と。流石大阪…。(片岡京都)
2286	夕食を食べていたら、父に電話があった。電話に出た後、父は「しまった」と言い、急いで出かけた。どうしたのかと思ったら、自分の送別会をすっかり忘れていて、時間になっても来ないので、呼び出されたようだ。
2287	夕食後、なんとなくお腹が痛くなった(ような気がした)。隣にいたダンナに洗い物を頼むチャンス、と思い「なんか、お腹痛いかも」とうたえると、「えっ？何段目のお腹？」と切り返された。
2288	夕飯の支度をしていたら、テレビを見ていた5歳の娘が大騒ぎしている。何事かと駆けつけると、かかりつけのお医者さんがマイクを持ってしゃべっているではないか。「先生ったらテレビに出るなんてすごい！」と興奮して見ていたが、これって医療ミスの記者会見じゃないの。今度会ったら、「テレビ見たよ！」って言うんだと張り切る子供。一晚寝て忘れてほしい。(ニャン)
2289	夕方、一人暮らしの彼氏からお昼につくったご飯の再利用を訪ねたメールがきたので、「オムレツのつけてオムライス風にしたら」と返したら、「ありがとう！オムツ風にする！」との返事。確かにふわふわ感はあるけど…。
2290	夕方、会社の先輩が耳打ちしてきた。「××さんのところにさっきシティハンターから電話があったらしいよ。」もちろん冴羽からであるはずもなく、かけてきたのはヘッドハンターだった。
2291	夕方、吉野家で牛丼を食べていたら、おばさんが二人組みで入店して来た。で、店員に尋ねたお言葉が「お肉以外のメニューって無いんですか？」。おばさん、完全に店の選択間違えてるよ…
2292	幼い頃、アニメに出てくるソフトクリーム型をしたウンチに憧れ、密かにおしりを回してチャレンジし続けた。(幼稚園の時ですけど…)
2293	幼い頃、大人の話によく首を突っ込む子だった私は、両親や親類たちが言ってた「水商売」がなんの事か分からなくて聞いてみたら面倒くさそうに「豆腐屋よ！」と教えてくれたので、中学生まで水商売＝豆腐屋だと思っていました。だって、水をいっぱい使うし…って妙に納得。(もめん女)
2294	幼い頃、面白がってスイカの種を妹にどんどん食べさせていたら母に「そんなもの食べたら盲腸になるよ！」と怒られ、モウ蝶という蝶になってしまうのかと思いこみ恐れおののいていた。
2295	幼なじみの友達とふたりで茶道を習いに行っています。あまりにももの細かい作法に挙動不審なふたりです。2回目か3回目のときにお茶碗に抹茶を入れるときの作法を習いました。

	友達が指導されているとき私はすぐそばで見ました。抹茶を茶碗にいれて、「そのまま茶さじで『井の字』をかい抹茶をほぐすんですよ。」って先生が言ったとき、友達は真剣な顔で「命」って抹茶に書いた。たぶんそれはちがうんだぞ、って思った。
2296	幼児向けの英語教室で単語を覚えてきた娘が自慢げに「りんごはアポー、おれんじはオーレンジ」などと言っていたので「犬はなあに？」と聞くと「ドーグ」と答えた。「ねこは？」と聞くと「キエアート」と答える。それならばと「じゃあ、ねずみは？」と聞くと暫く考えた後「チーズデイ」とのたまった。確かにCMのおねーさんはねずみの格好をしているがあれは違うんだよ…。
2297	幼稚園が程近い我が家の駐車場に、園児が書いたであろう七夕の短冊がひとつ落ちていました。風で飛ばされてしまったんでしょうね。どんな願い事かな、と見てみると…。「おかあさん ろとしくす あたりますように」と書かれていました。この子が夢を持って育ちますように。(ウチもびんぼう)
2298	幼稚園に通う次男は家ではとても落ち着きが無い。幼稚園での様子が気になり、次男に質問してみた。私「幼稚園は楽しい？」次男「うん」私「先生には何て呼ばれているの？〇〇くん？」次男「ううん、透明人間って呼ばれてるよ」私「え、何で？」次男「すぐにいなくなるから」私「…」やっぱり落ち着きが無いらしい。
2299	幼稚園の時の事。私のいたずらを知った母が「理由を正直に言いなさい！」と怒鳴りました。しかし「しょうじき」の意味が分からなかった私は、掃除機の前に行って理由を話しました。(そんな私も今年で30)
2300	来客者が「トイレはどちらですか？」と聞いてきたのに、一緒にいた一つ上の先輩は何を思ったのか、「便所はあちらです」と応えてしまった。便所って…。

2301	理科の実験。お題は酸とアルカリ。ふと先生がビーカーに指を入れて「アルカリはぬるぬるします」と言った。真似する生徒多数。先生「どうしてだか分かる人ー」生徒「……」先生「答えは手が融けているからです」ダッシュで洗面所へ向かう一同。命懸けでした。
2302	旅行社に海外航空便の就航日を確認するメールを打ち、送信後に驚いた。「週交尾は何曜日ですか？」何だか相談しにくくなった。
2303	旅先でのこと。5歳になったばかりの娘とともにうどん屋に入りました。自分たちの分は決まったものの、娘の好物である「キツネうどん」がなく、どうしようかと考えていたところ、妻が「これでいいんじゃない？」と山菜うどんを指差しました。店員さんに「じゃ、山菜うどんを…」と言った瞬間、娘が「もう3歳じゃない！5歳になった！」と激しい抵抗を見せました。(何歳?)
2304	料理なんて全くしない友達が、一人暮らしの彼のためにシチューを作った。味見して欲しいといわれたので行ってみると、なぜかシチューにポップコーンが入っていました。なぜ入ってるのかと聞くと、彼女の会社の先輩に書いてもらったレシピの材料欄に「あばれコーン」と書いてありました。多分「あればコーン」の間違いだと思いましたが、彼女の的にはポップコーンと解釈しちゃったみたいです。
2305	良く晴れた休日に甥っ子(生後6ヶ月)をつれて実家へ行きました。父は孫がかわいいらしく「ちゃんと帽子をかぶらせなあかん」と言ったので、「私にも帽子を買って」と手を出すと「おまえはAVのクリームでもぬっといたらええねん」。…「それをいうならUVです、お父さん」。照れた父が最高でした。
2306	領収書を見て上司が一言。「誰だ、エロデータなんか買ったのは！」そこにはIOデータと書かれていました。(経費では買ってみたい)
2307	隣の家のお孫さんは、とても口の悪い3歳児。大人に向かって「お前」と言うので、私の母が「お前とはなんだ！」と怒った。それからは、大人に向かって「お前さん」と言うように

	なった。
2308	隣の席のパートのおばちゃんは、お菓子をいろいろ分けてくれる。最初は素直にありがたくいただいていたが、あるときそのお菓子の賞味期限が2、3ヶ月は過ぎているのに気づいた。自分が賞味期限切れのお菓子処理場にされていたとは！悔しかったが、まんざらまずくもないのでヨシとしよう。(雪子)
2309	隣の席の人が電話相手にローマ字を伝えていて、「GだよG！爺さんのG！」と言っていた。(ばーさん)
2310	隣家の子供が幼稚園の時、お弁当はいつも菓子パンだった。ある日、それを見かねた保育士さんが、「おかあさん、お忙しいでしょうがひと手間かけてやって下さい」と、一言。翌日……『あんぱん』が二つに切っていた。
2311	隣町の実家に行った帰り、横に乗っていたうちのカミさん(43歳)が「ねえ、ウナギってどうやって暇つぶしするの？」と尋ねるので、「えええ？クイズ？」と悩みかけたが視線の先を見て、「やつらはね、お釜の中で昼寝するのさ」と答えると一瞬ムツとしたようだったが、信号が変わる前には「何だおひつか」と納得していた。漢字で書けば読めないかもしれないし、かといって仮名だとこうなる。そろそろ季節かな。ウナギのひつまぶし。
2312	歴史の時間、先生が「大正時代、銀ブラが流行りました」と解説してくれた。授業の後、「大正時代に、銀色のブラジャーなんか流行ってすごくないー？」と誰かが叫んだ。銀ブラ＝銀のブラジャーだと思ったのは私だけではなかった。
2313	連休の後、会長に「どっか行ったの？」と聞かれたので「ちょっと買いもんだけです」と答えたら「お！？君もそんなとこ行くんだ？僕も学生のとき登ってねえ、カイモンダケ…そうか～君も山好きか～、じゃあ今度、どこか登りに行くかね」ということになっていた。
2314	連日の受験勉強で疲れ気味の妹が「勉強ばっかりしてて、本当にもう毎日がエブリデイだよ！」と言っていた。本当は何と言いたかったのだろう。(彩)
2315	露出度の高い服で映画を見に行った次の日、お腹が冷えたみたいで朝から調子が悪かった。彼にそれを告げると「自作自演やな。」とのたまった。それを言うなら「自業自得」やろ。
2316	老人ホーム内での健康診断の時、おばあちゃんに「これから、身長と体重を測りますよ。」と言ったら、「それはお国のためになるんか？」と聞かれた。(ボランティア)

～ 終わり～

